

ちびパパ

作りやすくてカワイイ！
手のひらサイズのミニパプリカ。
小さくてもしっかり美味しい！
詰め合わせると荷姿も綺麗ですよ。



特性

- ① 果重は40～60g（パープルは15～40g）くらいの可愛いミニサイズのカラーピーマンです。
- ② 開花後55日位で収穫期となります。（パープルのみ着果直後から紫いろですが、他の3色位の大きさになるには40～50日位かかります）
- ③ マリネや炒め物、サラダ等はもちろん、糖度が高く食べやすいサイズなので、そのまま丸ごと食べても美味しい品種です。
- ④ 果色は濃赤色、鮮黄色、鮮オレンジ色、美しい紫色の4色があり、単色販売でも、組み合わせにしてセットで袋に入れても美しい荷姿になります。
- ⑤ 秀品率は高く着果性にも優れ、収益性が高い品種です。草勢は中位で栽培し易いです。

栽培のポイント

- ① 定植苗は一番花の開花直前くらいとし、3本または4本仕立ての1条植えを基準とします。
- ② 樹勢の維持を図るため、樹勢の状態を考慮しながら1～2番花は摘花します。3番花以降での収穫を基本とし、分枝は2節で摘芯します。
- ③ 着果性の高い品種ですので、誘引はしっかりと行い、早めの灌水と追肥を心がけます。



詰め合わせは荷姿も美しい。

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
ハウス抑制 (加温ハウス)	●		×									
ハウス半促成		●		×								
ハウス 雨除け 露地							●					

露地でも作れます！

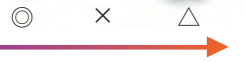
着果性に優れ、果実が小さいので、露地でもピーマンを作る感覚で栽培可能です。ただ、着色までに時間がかかり、着荷個数が増えていくので誘引はしっかり行ってください。



露地栽培風景

ちびパパパープルに関する注意点

ちびパパパープルは他の3色と違い、着果直後から紫色をしており、熟していくにつれ変色し、完熟するとオレンジ色になります。収穫のタイミングとしては変色を始める直前の光沢が出ている時となりますが、それは未熟果を収穫することになり、他3色と比べると果肉の厚みや糖度は若干少なくなります。完熟果はちびパパオレンジとして収穫できますが、草勢維持・品質維持の観点から変色前での収穫をおすすめします。



パープルは栽培中期以降、枝数が増え、草勢が衰えると果実が小さくなります。セット販売をお考えの方はこの点をご注意願います。